

井上通信

No.25

立春を過ぎ、日差しに春の温もりを感じられるようになってまいりました。今回は、当社社長の井上が会長を務める地域貢献団体「土佐ハチドリ会」の活動についてご報告します。

の未来に笑顔を咲かせられるよう取り組んでまいります。活動については、公式HPで発信をしているのでぜひご覧ください。三寒四温の折、皆様どうぞご自愛ください。

1月29日(木)、同会の第四回定例会が開催され、新たな活動として高知市鏡地域の「かがみ桜まつり」に協力することが決まりました。現在、高知県は全国に先駆けて少子高齢化や人口減少が進んでおり、多くの地域で伝統行事や環境の維持が困難になっています。高知市の水源地であり、春には鏡ダムの水面を鮮やかに彩る桜並木も例外ではなく、高齢化により手入れや運営の担い手が不足しているのが現状です。

地域の子どもたちが集う思い出の場と、地域が大切にしている景観を未来に残したい。その想いから、私たちは3月29日(日)の祭り当日に向け、会員企業と連携して草刈りや会場設営、運営等のマンパワーを提供します。行政や地域の方々だけでは抱えきれない課題に、企業の力を合わせて立ち向かいます。今後も土佐ハチドリ会を通じ、高知

岡村執行役員の一言

農業事業の合併会社設立以来、ベトナムを訪れる機会が増えましたが、20年前と比べて道路整備が進み、市民の足がバイクから車へ移り変わるなど、国の発展を肌で感じています。

食の安全意識も高まる中、私たちは「食べる人」にも「作業する人」にも安心して長く使って頂ける農業の展開に注力しており、

製品を通じて食の安全を守り、ベトナムのさらなる発展に貢献できるよう日々邁進してまいります。



井上のお石灰な話

INOUEの思い出編

- 働いていた当時の思い出を教えてください -

「カネジュウの機帆船」も懐かしいですね。戦前、積み出し場所は事務所の隣にあって、そこから出発していました。うちの船は緑と赤だったので、カネジュウのスイカ船と呼ばれていました。けれど、戦争中に空襲敵機にやられて沈没しましたね。戦後は馬車と貨物列車で運ぶようになりました。その後石灰の需要の減少に伴い、トラックへと変化してきました。



(昭和46～52年在職 山本 文子さん談)



冬の剪定作業も順調に進んでいます。どの畑もきれいに剪定されていて清涼感を感じる時期です。品種によっては登熟していない枝も散見されました。施肥や樹勢、キヤノピーマネージメント(編集注:生育に適切なバランスを目指し、樹勢をコントロールする事)も影響しているのでしょうが温暖化による高温の影響も否定できません。また県内はどの地区でも渇水が続いていて、このままでは春先の発芽遅れや、発芽が揃わず収量に影響する可能性もあります。「年により異なるブドウ」「発酵は微生物の仕事」「取返しのつかない工程」「数値では決められない」のワイン造りですが、土地と「年」の個性が液体になり、栽培・醸造それぞれの造り手の判断が味に直結していきます。2026のブドウの個性が楽しみです。

TOPIX

新事業 (2025年12月20日)

新事業! EC サイト事業開始。
「旅するいっぴん」がオープンしました。



受賞 (2025年12月23日)

IC ジンク水和剤が高知県産業新興計画賞を受賞しました。



ワイナリー (2026年1月9日)

城内全世代型社会保障改革担当大臣が井上ワイナリーを視察されました。



井上ワイナリー だより